

124 糸満の女は男勝り

糸満の女の人、那覇に魚行商に行つて、西の道を通るでしょう。あれから毎日通っているうちに、たまには売れなくて遅く帰る時もあるさね。

旦那が、これはいつも最近遅いから、男でも探しているんだろうと思つて、それを試すために、自分はあるキビ畑の中に隠れて。したら、妻はこのこ歩いてたから、来よつたみたい。したら、この旦那が一応は、自分はよその男のような見せかけで、この女を引っ張つたから、

「ヤーグートルムノーヒャー」（おまえのようなやつは）ちゆつて、何かキンタマ握られて、この男の人はキンタマ握られたみたい。そして、そのまま自分は、よその男と思つているから、お家帰つて来たら、旦那いないでしょう。したら、また一応は戻つてみたら、よその男ではなくて、自分の旦那だったと。あんなにして話があつたんですよ。

だから、糸満の女は男勝り。

字北波平 長嶺光子

